

佐倉フィルハーモニー管弦楽団

# 第61回定期演奏会

2014年12月7日(日) 14:00 開演

会場：佐倉市民音楽ホール(京成臼井駅南口徒歩4分)

指揮：碓山 隆一郎

曲目：ワーグナー／「タンホイザー」序曲  
ベートーヴェン／交響曲第4番  
エルガー／エニグマ変奏曲



碓山 隆一郎 Ryuichirou IKARIYAMA (指揮)

1987年鹿児島県・喜界島生まれ。幼少よりピアノと電子オルガンを学ぶ。  
私立浜松学芸高等学校電子音楽科を卒業後、2006年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)に入学。  
2012年同大学大学院(指揮研究領域)を修了。指揮を広上淳一、汐澤安彦、関谷弘志、田代俊文、三河正典、ピアノ及びスコアリーディングを野田清隆、久田典子、チェロを三森未来子の各氏に師事。また東京音楽大学在学中に、尾高忠明、高関健、下野竜也、ボリス・ベルキン(ヴァイオリニスト)、ヨルマ・バヌラ、ピエタリ・インキネン各氏の特別レッスンを受講。2009～2010年に井上道義による指揮者講習会に参加。  
2014年夏 Branimir Slokar Academy(スロヴェニア)のマスタークラスにおいて、クラウス・アルパのレッスンを受講し、コンサートでは Ljubljana International Orchestra を指揮した。  
現在、オペラ公演や各地のオーケストラへ客演している。



sakura  
philharmonic  
orchestra

主催：佐倉市民音楽ホール・佐倉フィルハーモニー管弦楽団  
[http://www.geocities.jp/sakura\\_ph\\_or/](http://www.geocities.jp/sakura_ph_or/)

後援：佐倉フィル友の会



## ワーグナー／「タンホイザー」序曲

歌劇「タンホイザー」は、リヒャルト・ワーグナーがドレスデン(ドイツ)宮廷劇場の指揮者になって2年後の1845年に完成した。次作の「ローエングリン」と並んでワーグナーの多くの歌劇の中でも広く親しまれている作品である。

中世の騎士で歌人のタンホイザーが愛欲の女神ヴェーヌスとの歓楽にふけったため、後にローマ法王のもとまで懺悔の巡礼の旅に出たにもかかわらず許してもらえなかった。そんなタンホイザーをヴァルトブルク城主の姪エリーザベット姫が生命を捨てた献身的な祈りをささげて救う、という内容である。

この序曲は、このような歌劇の内容を生き生きとした表現によって良く表している。

二宮 伸雄(2nd Vn)

## ベートーヴェン／交響曲第4番

1806年ベートーヴェンが36歳のとき、オッペルスドルフ伯爵からの依頼で作曲し、翌年の1月に自身の指揮で初演した。全曲を通じて、技巧的なファゴットを始めとする木管楽器群、ホルン、ティンパニの用法が実に効果的で明るい、喜ばしい雰囲気を作り出している。

### 第1楽章：アダージョ～アレグロ・ヴィヴァーチェ

不気味でありながら神秘的な空気を演出する【ソ→レミ、ファ→レ】は交響曲「運命」のテーマ旋律である。しかし、このアダージョは深刻な響きではなく不思議な雲の隙間から聞こえる天上からの予感の響きとなり、そして「駆け上がり」旋律で一気に雲が晴れ渡る。この瞬間に聞き手は様々なイメージを自由に膨らませる。恋愛に悩む若者が恋人に出会い心が高揚する心情、祈りをささげていた者が神からの啓示を受けた瞬間、等々。軽快なアレグロでは *pp* から *f*、*ff* への高まり、展開部では *p* で奏される木管と弦との掛け合いは、冒頭部の旋律を再現しつつ聞き手がイメージを更に膨らませる。そしてクライマックスに達する。

### 第2楽章：アダージョ

交響曲でアダージョが出てくるのは後の「第九」の第3楽章であるが、ピアノ、ヴァイオリンなどの他の独奏楽器の作品でもベートーヴェンのアダージョの美しさは際立っている。一般に抱かれる作曲者の印象とは異なり、このアダージョこそベートーヴェンの真骨頂と主張するファンも多い。

ハイドンの交響曲「時計」の冒頭を想起させる旋律が付点リズムで1小節奏された後に、ヴァイオリンの優雅な旋律を奏でる。ヴィオラがひと際美しく響きヴァイオリンの高音と対比を演出する。単に美しいだけでなく、楽器が次第に重なり合い厚みを増して大きな波のうねりを創り出す過程は、ベートーヴェンの緻密な計算であろうか。

### 第3楽章：メヌエット、アレグロ・モルト・エ・ヴィヴァーチェ

「メヌエット」と慣習に従って表記されているが、これは明らかにスケルツォである4分の3拍子で楽譜は書かれているが、聞き手はこれが2拍子なのか、3拍子なのかリズム感が混乱する。「ヘミオラ」という手法で、ハイドン、モーツァルトも効果的に使い、ロマン派作品では更に進化して使われている。

ブラームスの複雑な使用方法とは異なり、この3楽章では非常に明快に、わかりやすく表現されているという点で注目されている。これをベートーヴェンの「冗談」「ユーモア」とも受け取れる。ユーモアとはかけ離れていた作曲家が音楽の中で面白いこと、わくわくすることを表現していたのでは、と評する人々も多くいる。

### 第4楽章：アレグロ・マ・ノン・トロppo

最初から最後まで失踪する16分音符で書かれた無窮動の音楽である。細かな動きの中からヴァイオリン、次いで木管が柔らかな旋律を奏でる。その後クラリネットの三連音符の分散和音をバックにオーボエのソロが登場し、シンプルで愛らしいメロディを歌う。

展開部の陰影も実に巧みに構成されており、フィナーレに向かって走り抜けるという実に軽快であるが、優雅な最終楽章である。

相川 みどり(1st Vn)

## エルガー／エニグマ変奏曲

エドワード・エルガーは1857年イギリスに生まれた作曲家で、このエニグマ(謎)変奏曲は1898年、作曲家41歳の年に作曲、翌1899年ロンドンで初演された管弦楽曲である。3年後の1901年に作曲された「威風堂々第1番」、及び、ピアノの教え子キャロライン・アリス・ロバーツと結婚した時に贈った「愛の挨拶」と共にエルガーの代表作と言える。

正式には「管弦楽のための独創主題による変奏曲(謎)」と呼ばれ、アンダンテの主題の後、それぞれ副題の付いた14曲の変奏がついていて、全体として30分前後で演奏される。

ちなみに、第1変奏には「C.A.E」という副題がついているが、これは上記の Caroline Alice Elgar の頭文字である。また、第9変奏は「ニムロッド Nimrod」と呼ばれ、単独でも演奏される機会の多い曲だが、これはエルガーの親友アウグスト・イエーガー(August Jaeger)の愛称「ニムロッド」から取られている。

二宮 伸雄(2nd Vn)





## Sakura Philharmonic Orchestra

佐倉フィルハーモニー管弦楽団メンバー

Concert Mistress : 矢野 歩

**1st Violin**

相川 みどり  
清水 俊子  
島津 智恵  
♩ 庄司 睦美  
♪ 伊藤 桜子  
♪ 久間 好高  
♪ 久間 知恵子  
♪ 高橋 雅英  
♪ 永井 朝子

**2nd Violin**

天本 幸江  
岩淵 善彦  
佐藤 邦子  
♩ 二宮 伸雄  
畑 保子  
宮内 千絵  
♪ 不破 悦子  
♪ 若林 佳水

**Viola**

♩ 河辺 修次  
♪ 杉原 佐知子  
♪ 高橋 恭子  
♪ 高橋 奨  
♪ 不破 眞  
♪ 松岡 裕樹

**Cello**

菅野 修平  
♩ 清水 裕幸  
松浦 晴彦  
♪ 上田 哲也  
♪ 通山 光正  
♪ 藤塚 紗也香

**ContraBass**

♩ 西中 久美子  
八田 英司  
♪ 赤岡 秀紀  
♪ 澤田 靖駿  
♪ 西中 啓二  
♪ 宮野 良平

**Flute**

♩ 阿部 恵美  
三村 さゆり  
山田 綾乃

**Oboe**

古滝 百合絵  
♩ 辻野 豊博  
出口 薫太郎  
松本 賢一郎

**Clarinet**

會田 智恵子  
石鍋 豊和  
原口 豊隆  
♩ 福士 未樹

**Fagotto**

♩ 大平 麻海子  
♪ 山形 真生

**Horn**

岡 裕昭  
川田 陽子  
小林 昌樹  
♩ 阪本 薫子  
柴田 かおる

**Trumpet**

石井 発雄  
♩ 大木 基之  
♪ 伊藤 麻衣子

**Trombone**

阿部 博  
柴田 孝一  
♩ 村上 茂夫

**Tuba**

♩ 氏家 豊

**Percussion**

♩ 新井田 久美子  
♪ 遠藤 俊彦  
♪ 岡崎 紀子  
♪ 小川 敏弘

♩ : パートリーダー  
♪ : エキストラ

**第62回 定期演奏会**

開催日 : 2015年6月28日(日) 14時開演  
場 所 : 佐倉市民音楽ホール  
指 揮 : 碓山 隆一郎  
曲 目 : シューマン「マンフレッド序曲」  
ポロディン「交響詩 中央アジアの草原にて」  
シューベルト「交響曲第9番「グレイト」」

**団員募集**

【募集楽器】 弦楽器:全パート  
管楽器: Trp(2名)、Fg.(2名)  
打楽器:若干名  
【練習日】 毎週日曜日 18:00~21:00  
【練習会場】 佐倉市民音楽ホール練習室 他  
【問い合わせ】 [http://www.geocities.jp/sakura\\_ph\\_or/](http://www.geocities.jp/sakura_ph_or/)